

基本方針 2 大阪府立図書館は、幅広い資料の収集・保存に努め、すべての府民が正確な情報・知識を得られるようサポートします。

重点目標 2-5	デジタル資料の提供をはじめとする、情報通信技術の進展に合わせたサービス提供基盤の構築を進めます。				
評価 (25年度)	○	【評価の理由】 図書館情報システムのリプレースを無事完了し、電子資料検索システム「おおさか e コレクション」、国立国会図書館（NDL）システムとの相互連携、ホームページのリニューアル等のサービス提供基盤を構築し、運用を開始することができた。 <u>国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」（26 年 1 月サービス開始）も開始時からの対応が実現した。</u> 26 年度以降のデジタルコンテンツ充実のための作業も を 進めており、予定どおり進捗している。			
重点指標		24 年度末 実績	目標	25 年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
図書館情報システムリプレースの実施		調達仕様 確定	デジタル資料活用の ための環境構築実現	リプレース 実施	
【アクション・プラン】					
	取組み		達成状況		
平成 25 年度	(1)デジタル資料へのシステム面での対応（デジタル資料の蓄積、検索といった活用環境の整備） (2)NDL システムとの相互連携（NDL 書誌データの取込・NDL 総合目録への提供等、NDL との連携強化） (3)新たなウェブサービスの構築（スマートフォン対応・外部サイトとの連携）		(1)図書館情報システムのリプレースを実施、電子資料検索システム「おおさか e コレクション」を運用開始 (2)オンラインによる自動連携化等、NDL との相互連携強化を実現 (3)ホームページリニューアルを実施、スマートフォン対応、外部サイトとの連携強化		
平成 26 年度	(1)デジタル資料の検索・蓄積環境の整備に伴い、システム機能活用による新コンテンツの追加検討				
平成 27 年度					
【アクション・プランのねらい】（25 年度当初に記入） ・平成 25 年度に予定している現行図書館情報システムの更新（リプレース）にあわせて、デジタル資料への対応、NDL デジタル化資料配信等の連携および、新たなウェブサービスの構築を実現する。また、デジタルコンテンツのアーカイブを進めるためのシステム環境を整備し、順次デジタルコンテンツのアーカイブを進める。					